

2025年 1月22日

2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人子どもセンターパオ

ホーム名 ぴあ・かもみーる

代表者・役職名 氏名 理事長 渡邊 佐知子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成事業の名称

入所者居住環境整備事業及び施設内 IT 環境整備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

子どもセンターパオは弁護士や福祉関係者、市民などが集まり、2007 年から、虐待や DV より家に居場所のない十代の少女に、緊急避難場所として温かいご飯や布団を提供するシェルターの運営を開始しました。その後、2011 年にシェルターの次のステップとして家庭的な環境の下、自立を目指していける場所として自立援助ホームぴあ・かもみーるを開所し、これまで約 100 名を超える子どもたちと関わってきました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

施設開設当初から設置されているリビングルームのテーブルや椅子の老朽化が進んだことなどから、子どもたちの生活の中で重要な空間であるリビングルームの環境を向上させ、雰囲気をより明るくし、利用者が過ごしやすく整えたいです。次に、スタッフルームのエアコンが経年劣化して、効きが悪く、特に昨今の夏の異常な暑さの中、子どもたちを支えるスタッフの職場環境も整えたいと思いました。また、故障したスタッフ用のPCモニターを導入し施設内のIT環境を向上させます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

子どもたちの生活の中で重要な空間であるリビングルームの環境を向上させるため、老朽化したテーブルと椅子を買い替えます。次に、経年劣化して効が悪いスタッフルームのエアコンを買い替えます。また、故障したスタッフ用のPCモニターを導入し施設内のIT環境を向上させます。また、文具で必要となったブックエンドも購入します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

私たちの施設は他の自立援助ホームと比較して子どもたちがホーム(施設)にいる時間が多く、リビングやダイニングで過ごす時間も多いため、リビングやダイニングの雰囲気も大切になります。開設当時から設置しており、使用劣化も進んだこれまでのテーブルや椅子を買い替えることで、部屋全体が明るくなりました。

子どもを支えるスタッフが詰めるスタッフルームのエアコンも経年劣化で効きが悪く職場環境がよくなかったのですが、新しいエアコンに買い替えることで、真夏の宿直なども快適に睡眠がとれるようになりました。

また、PCモニターに関しては、工作上なくてはならないものですので、良いタイミングで買い替えができ、作業効率も良くなり、結果として、子どもたちへの対応へ時間がより割けることになると思います。その他、文具でブックエンドが必要となったため購入しました。本棚の本が倒れてくるのを防ぎます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

開設から年月が経ち、施設内のいろいろなところや備品などが修理が必要になってきたり、破損したり、劣化したりしてきています。より重要なものから順に買い替えたり修理をしたりしてきていますが、今後もこの流れは続くと考えられます。今回は、子どもやスタッフの住環境が改善されることで、結果的に子どもたちと良い関りができることに繋がっていると思います。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

